



櫛北小だより



学校教育目標「ゆたかな心もち たくましく生きる」

<http://www.kita.m-alps.ed.jp/>

発行：校長室 2019. 6. 27 (No. 3)

北小オリンピック たてわり班で協力して

5月に児童総会を開き、今年度の活動を本格的にスタートさせた児童会。

6月14日(金)には、児童集会「北小オリンピック」がおこなわれました。

子どもたちが準備した競技は9つ。いくつか紹介します。

「しんぶんしり」＝「1枚の新聞紙に全員が乗り、のっていられた秒数が得点になります。制限時間は60秒です。全員が10秒たったところで乗れて、40秒まで崩れなかった→30点。」



「あきかんタワー」＝「空き缶を積み重ねて、タワーを作る。最も高かったタワーに使われた空き缶の数が、得点になる。タワーは、いくつ作ってもよい。時間は1分間。」



「風船バレー」＝「班で一つの風船を落とさないように何回つけるかをきそいま

す。1分間で多く続いた回数を得点にします。低学年は軍手をはめ、1回つくと2点入ります。」



「輪投げゲーム」＝「1人1回投げて、コーンに入った本数が得点となる。入れるコーンは、低、中、高で指定されている。」



というようなものです。競技の運営は児童会役員がおこないます。

たてわり班で、次々と競技に挑戦し、得点を重ねていきました。上の学年が下の学年のめんどうを見ながら、オリンピックを楽しんでいる姿が見られました。

あいさつ運動

また、朝は、たてわり班で「あいさつ運動」をおこなっています。児童玄関に入ってすぐの廊下と、校長室前の廊下で、毎朝、元気な挨拶の音が響いています。

ご家庭ではいかがでしょうか？

朝、目が覚めて、家族と交わす元気で明るい「おはよう」の声。一日が、そんな声で始まることは、とてもすてきなことだと思います。「いただきます」「ごちそうさまでした」「行ってきます」「行ってらっしゃい」。そんなあいさつの中で、子どもたちが毎日、登校するのは大切なことです。

2年生 地区探検

5月から6月にかけては、各学年で、さまざまな校外学習や体験学習がおこなわれました。

2年生は梅雨の合間をぬって、桃園(5/27)・曲輪田(5/23)・上宮地(6/6)にでかけ生活科の地区探検をおこないました。

井戸、学校跡地、消防団詰所、公会堂、道祖神、J A、神社、郵便局などたくさん見学しました。

見学先によっては、働いている方からわかりやすく説明をしていただきました。親切にいただいた方々の思い出とともに、自分たちの住むところへの愛着がより深まったことでしょう。



3・4年生 消防署見学

6月19日(水)には、3・4年生の消防署見学が行われました。

来年度、教科書が変わり、消防署の学習をする学年が4年生から3年生に変わることに合わせ、今年度は3・4年生合わせての見学となりました。



今年度は3・4年生合わせての見学となりました。

見学先の南アルプス消防署では、幸い見学中に緊急出動がなかったため、何人もの消防士の方々から、体験コーナーを交えてわかりやすく消防署の仕事や設備・機材について説明をしていただきました。

はしご車、ポンプ車、化学消防車、救助工作車等の車輛や通信指令室の見学をしました。

見学のもう一つの大切な意味は、そこで働いている方々の姿を見ることです。人々の命や財産を守るために、昼も夜も働いている消防署の方々の姿は、子どもたちに強い印象を残したことでしょう。

見学を始める前に「大人になったら消防士になりたい人?」と聞かれて手をあげた子どもの数よりも、見学を終えてから同じことを聞かれて手をあげた子どもの数の方が増えていました。

見学の最後には、消防全国大会に出場される隊員のロープ伝いの移動技を見せていただき、子どもたちみんなで見上げながら大きな応援を送りました。



小林喜也さん ご冥福をお祈りします

約8年にわたって、楡形北小学校の子どもたちが下校する時に見守り活動をしていただいていた小林喜也(こばやし よしや)さんが、6月16日にご逝去されました。

大和川橋のもとで、安全確認や子どもたちへの声かけをしてくださいました。平成29年の秋に大きなケガをされて、入院や自宅静養をされていました。

ほんとうにありがとうございました。

謹んでご冥福をお祈りいたします。